

2024年度学校設定科目「課題研究Ⅲ」(2025年度まで旧「課題研究Ⅱ」) 年間指導計画・評価計画

科目名	課題研究Ⅱ		履修学年(単位数)	第3学年（1単位）・選択	
教科書	独自の教材テキスト				
副教材	特に指定しない				
目標	2学年必修で取り組んだ研究を、他の指定校等の生徒とともに研鑽を積む機会を重ね、より精度の高い研究を継続的に行うことにより、更に充実した成果を得ることを目指す。また、その成果をSSH生徒研究発表会、各学会のジュニアセッション並びに科学技術コンテストなどで発信する。				
年間授業計画					
時期	単元	学習内容	時数	目標・内容の具体	
4～5月	①ガイダンス	「課題研究Ⅱ」の趣旨を理解する	1	深化させた研究成果を発信する意義を確認する。	
	②研究計画書の作成	研究計画書を作成する意義、方法を確認し、研究計画書を作成する。	6	1. 課題研究テーマ設定の動機、2. 設定した課題研究の背景、現在までにわかっていること、課題研究Ⅰでの到達点、3. 今後見通したいこと（仮説、リサーチクエッション、モデル）、具体的な目標や調査・実験方法、4. スケジュール、5. 伸ばしたい能力、習得したいスキルを設定	
5～8月	③研究発展期	各自の研究計画書に基づいて、研究を進める。	16	・各自の研究テーマに即して、追加実験、インタビュー、文献調査等を行う。 ・お茶の水女子大学との課題研究支援協定を活用するなど、高校内にとどまらない活動により、研究を深める。	
8～3月	④研究発信期	研究成果を発信するとともに、他の指定校生徒とともに研鑽を積む機会を重ねる。	10	研究成果を発表し、他校の生徒とのたとえば： ・学会、研究会への参加による発表を行う。 ・ワークショップを開催する。 ・課題研究Ⅰなどの授業へ、後輩への研究活動のロールモデルとなったり、知識伝達を行ったりする。 ・論文やレポートを作成し、外部へのコンテスト等への応募を行う。	
評価規準	共創性①	・【プロセス】自身の課題研究について責任を持って遂行する意志がある。 ・【プロセス】周囲の課題研究の取組みについて、興味関心を持っている。 ・【成果】成果物に対して責任を持ち、他者への助言や補助ができた。			
	共創性②	・【プロセス】新たな発見や価値を創造し、粘り強く研究を継続しようとする。 ・【成果】多くの学びや成果を通して、新たな発見や価値を創造することができた。			
	科学的探究力①②③	・【プロセス】研究テーマに対して多くの事柄を学び、学問的・社会的意義を見いだして、研究を主体的に進捗させている。 ・【成果】研究テーマに対して適切な先行研究を調査し、具体的な検証方法を示しながら仮説を立てることができた。			
	科学的探究力④	・【プロセス】データ収集、分析、実験、観察、調査などの実施時期や方法について計画を立て、研究を主体的に進捗させている。 ・【成果】データや結果を適切な形に整理・分析し、論理的にまとめた。			
	発信力	・【プロセス】自身の課題研究を、多くの人に理解してもらえるよう工夫して発信している。 ・【成果】論理的な文章等でわかりやすい発表や表現を行い、質疑応答に適切に対応した。 ・【成果】校内外での発表や論文賞に応募するなどして、意欲的に発信活動を行った。			
評価方法	研究計画書、研究を発信する際に作成したポスター・論文等から評価する				
備考	年間授業時数：33時間				